

撫順

加害と再生の地から 現代と未来を考えるシンポジウム

日 時：9月13日(土)

12:30開場

13:00開演

会 場：東京大学弥生講堂

(一条ホール)

資料代：一般1000円

※学生500円

プログラム

- ・平頂山事件・撫順戦犯管理所の紹介(映像)
- ・王質梅さん(予定)のお話
※初めて日本に来てお話をされます
- ・パネルディスカッション

《パネリスト》

傅波さん



中国撫順市社会科学院院長。撫順市地方史学会理事長。長年、平頂山事件研究に携わるとともに、中国における平頂山事件訴訟の支援の中心を担っている。

伊藤真さん



1995年、司法試験指導のキャリアを活かし「伊藤真の司法試験塾」を開塾。現在、弁護士業務を休業し、受験指導に専念。また、「憲法の伝道師」として、各種の集会で講演を行う。

高橋哲郎さん



元日本軍兵士。敗戦後、シベリア抑留を経て、撫順戦犯管理所へ。1956年、起訴免除となり帰国。中国帰還者連絡会(2002年解散)最後の事務局長。

井上久士さん



駿河台大学法学部教授。平頂山事件研究会代表。中国人戦争被害者の要求を支える会運営委員長。日本における、平頂山事件研究の第一人者。

中国撫順市、ここは1932年9月16日、日本軍による住民虐殺の平頂山事件が起き、撫順戦犯管理所で日本軍の兵士が人間の心を取り戻したところです。

80歳をこえた平頂山事件の被害者王質梅さん(女性87歳・初来日)のお話を聞き、東アジアにおける平和構築のテーマでパネルディスカッションを行ないます。

あなたも、日本の学校できちんと教えられていない日本と中国の過去・現在・未来について一緒に考えてみませんか。



9月12日(金) 第4回平頂山事件国際学術シンポジウムを行います

【主催】「撫順」から未来を語る実行委員会(中国人戦争被害者の要求を支える会)

問い合わせ先 TEL03-5379-2607 FAX03-5379-2608